

# 平成27年度 事業計画

(H27.4.1～H28.3.31)

## 1. 服飾教育に関する調査研究

服飾（和裁・洋裁・編物・色彩）教育の振興・発展のために、日本の服飾教育に関する研究並びに服飾に関する関心度の調査、服飾に関する伝承継承についての調査研究を行う。

- (1) 文部科学省後援色彩検定に対する受験校の状況調査
- (2) 日本の民族衣装である和服に対する種々の研究と後世に伝えるべき特殊技術の指導方法並びに今後外国に向けての紹介
- (3) 日本の服飾教育全般における現在と今後の状況調査
- (4) 服飾に関する日本の伝統的な染色と文化についての調査及び研究

## 2. 和裁・洋裁・編物及び色彩の教育に関する研究、講習会の開催

### (1) A・F・T国際色彩コーディネートコンクール

- ・ ファッション部門
- ・ ポスター部門

対象：協会会員（正会員・講師会員・準会員）・一般

ファッション部門とポスター部門に分けてA F T国際色彩コーディネートコンクールを開催する。平成27年10月に応募要項をHPに掲載、チラシを配布し、1次、2次審査後、文部科学大臣賞、読売新聞社賞、毎日新聞社賞、毎日放送賞、特別賞、色彩検定協会賞等を平成28年1月に決定する。  
受賞者には、賞状と記念品を送付する。

### (2) 生徒作品コンクール

対象：協会会員

服飾指導者並びにそれをめざしている者の人格及び技術向上のために作品コンクールを開催し、将来の服飾指導者育成を目的として各認可校において学院長が審査員となり、入賞作品を決定する。

### (3) 講師養成講座

対象：検定試験1級取得者

時期：4月～9月

テーマ：色彩関連の講師養成

場所：東日本・西日本

講師：色彩関係者及び大学教授

参加者：約50名

### (4) A・F・T色彩セミナー

対象：協会会員・一般

時期：6月・10月頃

テーマ：色彩関係

場所：東日本・西日本

講 師：色彩関係者  
参加者：1回約50名

(5) 文部科学省認定「たのしく学ぶ色彩講座・初級コース」(通信教育)

対 象：一般  
講 師：色彩関係者他  
受講者：約300名

(6) 無料技術講習会

対 象：協会会員・一般

4月 テーマ：基礎技術をマスターする(和裁の部)

場 所：東日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約25名

5月 テーマ：伝統着装の研究

場 所：東日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約50名

6月 テーマ：織元・染物の見学

場 所：東・西日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約70名

8月 テーマ：能衣装研究会

場 所：東・西日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約30名

10月 テーマ：技能フェスティバル

場 所：東・西日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約60名

11月 テーマ：織元・染物の見学

場 所：東・西日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約30名

1月 テーマ：着物の知識講習会①

場 所：東日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約50名

2月 テーマ：着物の知識講習会②

場 所：東日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約50名

3月 テーマ：着物地で和装小物製作

場 所：東日本地区

講 師：協会正会員

受講者：約20名

### 3. 服飾に関する機関紙の発行

機関紙「A・F・Tジャーナル」の発行

4月	A・F・TジャーナルVOL. 57の発行	5,000部
8月	A・F・TジャーナルVOL. 58の発行	5,000部
11月	A・F・TジャーナルVOL. 59の発行	5,000部

協会会員・検定試験受験団体校・希望者に配布

### 4. 和裁・洋裁・編物・講師資格等の認定

服飾指導者の養成及び技術の向上を目的に各学院、研究所等より申請のあったものに対し、各証書を発行し、資格を認定する。

本科修了証・研究科修了証・高等科修了証・師範科修了証

技能資格1級～3級・講師資格証・表彰状

### 5. 服飾教育及び色彩知識等に関する色彩検定の実施とそれに関する諸事業

#### (1) 文部科学省後援「色彩検定」1級～3級 試験実施

実施日：1回目	6月	—	2・3級
2回目	11月	—	1・2・3級
	12月	—	1級のみ2次試験

会 場：全国各地

受験申込者数：	1級	1,900名
	2級	12,000名
	3級	28,000名

#### (2) 検定試験成績優秀団体及び成績優秀者の表彰式

対象：平成27年度「色彩検定」試験1級、2級、3級の合格者及び成績優秀団体

色彩に関するより広く正しい知識を身に付けていただき、その努力をたたえ、習得した能力及び技術に対し、文部科学大臣賞（個人・団体）、優秀団体賞、顧問賞、奨励賞等を決定し、賞状と記念品を送付する。

### 6. その他目的を達成するために必要な事業

#### (1) 文部科学省後援「色彩検定」試験宣伝活動

- ① ポスター、ガイドなど製作
- ② HP、雑誌に掲載
- ③ 携帯電話からの受験申込み等、インターネット広告
- ④ JR東日本（東京、静岡、愛知～九州）、JR北海道、仙台地下鉄、沖縄モノレールにステッカー広告
- ⑤ 書店、大学生協に色彩検定ガイドやチラシを設置

- (2) ニューヨークオフィスの運営
- ① 海外色彩情報の収集
  - ② 色彩コーディネーターコンクールにおけるFITニューヨークファッション工科大学、FITニューヨークファッション工科大学ミラノ校・フィレンツェ校及びニューヨークパーソンズ大学、ニューヨークパーソンズ大学パリ校との色彩情報の交換
- (3) 「伝統文化と色彩研究会」設置
- ・ 生涯学習の一環として、伝統文化（衣・食・住）の研究、調査